

腎細胞癌の切除手術を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で採取された病理組織検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 非淡明細胞型腎細胞癌における予後因子に関する臨床病理学的検討

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 新潟大学医学部病理組織標本センター 助教 大橋 瑠子

《研究の目的》 本研究では、非淡明細胞型腎細胞癌、特に嫌色素性腎細胞癌の病理組織形態と染色体異常の違いに着目し、染色体異常を反映する形態学的因子と免疫染色マーカーを探索することにより、嫌色素性腎細胞癌の予後を推定可能な新規組織亜型分類の提案と、他組織型との鑑別に有用な新規病理診断手法の開発を目指します。

《研究期間》 研究許可日～2023年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

非淡明細胞型腎細胞癌の患者さんで、2001年1月から2017年12月の間に腎腫瘍摘出術を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、腫瘍径、TNM病期分類、術後観察期間、当該腫瘍による死亡の有無

試料：手術で摘出し病理診断に用いた組織

《外部への試料・情報の提供》

共同研究機関に提供する際には、新たな症例番号を付加した識別番号を使用して特定の個人を識別することができる状態での情報の匿名化を行います。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

《研究組織》

①【研究責任者】

所属 新潟大学医学部病理組織標本センター 職名 助教 氏名 大橋 瑠子

②【研究分担者】

所属 新潟大学医学部臨床病理学 教授 味岡 洋一

所属 新潟大学医歯学総合病院病理部 准教授 梅津 哉

所属 新潟市民病院病理診断科 医療技術部長・科部長 渋谷 宏行

所属 新潟県立がんセンター新潟病院病理診断科 病理部長 川崎 隆

所属 立川総合病院病理科 病理科長 小林 寛

所属 チューリッヒ大学病院 Institute of Pathology and Molecular Pathology 教授 Holger Moch

所属 聖隷浜松病院病理診断科 病理診断科部長 大月 寛郎

所属 岐阜大学医学部附属病院病理診断科 臨床教授・病理診断科長 宮崎 龍彦

所属 高知赤十字病院病理診断科部 病理診断科部長 黒田 直人

所属 長崎大学大学院医歯学総合研究科生命医科学講座病理診断学 准教授 古里 文吾

所属 愛知医科大学病院病理診断科 教授 都築 豊徳

所属 関西医科大学附属病院病理診断科 講師 大江 知里

所属 旭川医科大学病院病理部 教授 谷野 美智枝

所属 東京女子医科大学病院病理診断科 教授 長嶋 洋治

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院における研究責任者

関西医科大学附属病院 病理診断科

大阪府枚方市新町2丁目3-1

電話 072-804-2794 FAX 072-804-2960

研究責任者：病理診断科 講師 大江 知里